

貸借対照表
2012年 12月31日現在

栗山興産株式会社
(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,216,387	流動負債	766,888
現金・預金	210,832	支払手形	451,695
受取手形	465,764	買掛金	183,974
売掛金	385,962	短期借入金	20,000
製品・商品	120,343	未払金	1,622
仕掛品	0	未払費用	12,603
原材料	23,491	未払法人税等	80,941
貯蔵品	5,224	その他流動負債	7,736
前払費用	2,207	未払消費税	8,317
未収入金	0		
短期貸付金	20		
繰延税金資産	11,444	固定負債	0
その他流動資産	1,100	その他負債	0
未収消費税	0		
貸倒引当金	▲ 10,000	負債合計	766,888
固定資産	65,226	(純資産の部)	
(有形固定資産)	64,928	株主資本	514,725
建物	1,690	資本金	18,000
構築物	2,383		
機械装置	59,827	利益剰余金	496,725
車両運搬具	1,006	利益準備金	4,500
工具・器具・備品	22	その他利益剰余金	492,225
建設仮勘定	0	別途積立金	200,000
(投資その他の資産)	298	繰越利益剰余金	292,225
繰延税金資産	298		
その他資産	0	純資産合計	514,725
貸倒引当金	0		
資産合計	1,281,613	負債・純資産合計	1,281,613

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

122,101 円

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産： 移動平均法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く）： 定額法

② 無形固定資産（リース資産を除く）： 定額法

ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

② 賞与引当金

使用人に対する賞与の支給に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

③ 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、退職給付引当金及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(4) その他計算書類作成のための重要な事項

① 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

2. 当期純損益金額

当期純利益 117,251千円